

病院名・診療科	コメント
NTT東日本関東病院 (東京都) 脳神経外科	水田和哉部長を中心に、くも膜下出血、脳動脈瘤の手術症例数が多い。多方向から放射線をあてるガンマナイフ治療を行なっている
杏林大学病院 (東京都) 脳神経外科	脳外科全般にわたりカバー、くも膜下出血、脳動脈瘤の手術を数多く手がけている。塩川芳昭教授が名医として知られている
慶応義塾大学附属病院 (東京都) 脳神経外科、神経内科	脳神経外科・河瀬誠教授は頭蓋底腫瘍と呼ばれる深部の腫瘍の治療に優れる。神経内科・棚橋紀夫部長は脳血管障害全般の症例が多い
東京女子医科大学病院 (東京都) 脳神経外科	脳腫瘍の症例が多い。一般的に短期入院ですむとされるガンマナイフ放射線治療を中心に行なっている。堀智勝教授は悪性脳腫瘍の症例が多い
虎の門病院 (東京都) 脳神経外科、脳神経血管内治療科	血管障害一般の治療が可能。脳神経外科の臼井雅昭教授は名医。脳神経血管内治療科・根本繁部長は血管内治療の技術に定評がある
日本医科大学附属病院 (東京都) 脳神経外科	脳下垂体腫瘍の症例が多く、寺本明教授を中心に1000例以上手がけ、しかも死亡例がないことで知られている
横浜市立脳血管医療センター (神奈川県) 脳神経外科、神経内科	脳血管障害専門病院。MRIなどが24時間稼働し、いつ入院しても的確な診断が受けられ、急性期から安定期まで先進的な医療を提供
藤田保険衛生大学病院 (愛知県) 脳神経外科	佐野公俊教授、加藤庸子助教授らによる脳腫瘍、脳動脈瘤の血管内治療の他、顔面神経麻痺や三叉神経痛など多岐に亘る治療が受けられる
京都大学医学部附属病院 (京都府) 脳神経外科	脳血管障害では橋本信夫教授が熱心な治療を行なっており、特に血管の奇形に関する治療技術が優れている
国立循環器病センター (大阪府) 脳神経外科	宮本享部長は、血管障害一般の症例が豊富。国立の脳血管系施設では最も定評があり、あらゆる脳血管障害に対応できる設備が完備

病院名・診療科	コメント
心臓血管センター北海道 道大野病院 (北海道) 心臓血管外科、循環器科	外科手術は道内施設で群を抜き年間症例数約400例。道井洋史副院長が有名。2年前拡充した循環器科は牧口光幸医師の評価が高い
岩手医科大学循環器医療センター (岩手県) 心臓血管外科、循環器内科	同施設は大学病院から独立し、心臓血管外科と循環器内科の連携がとれ、心臓疾患においては北日本随一の成績をあげている
自治医科大学大宮医療センター (埼玉県) 心臓血管外科	冠状バイパス手術や大動脈瘤手術に定評がある。大動脈瘤手術の症例数は国立循環器病センターについて2位を誇る
榊原記念病院 (東京都) 心臓血管外科、循環器科	心臓血管外科、循環器科ともに充実。冠動脈バイパス手術、弁膜症の手術に優れる。循環器疾患の最先端かつ高度な医療に定評がある
新東京病院 (千葉県) 心臓血管外科、循環器科	心筋梗塞や狭心症のバイパス手術、オフポンプ手術の実績が高い。心臓血管外科・高梨秀一郎部長、循環器科・中村洋部長は症例が多い
葉山ハートセンター (神奈川県) 心臓血管外科	バイパス手術や弁膜症の手術に定評がある。また心不全の外科的治療パチスタ手術は国内随一の実績を持っている
豊橋ハートセンター (愛知県) 心臓血管外科、循環器科	世界レベルの症例数を誇り、年間手術数250例、カテーテル治療は約1500例。鈴木孝彦院長が名医。狭心症の症例が多い施設でもある
国立循環器病センター (大阪府) 心臓血管外科、心臓血管内科	循環器疾患治療の総合施設。特に心臓血管外科、心臓血管内科は、国内トップクラスの実績を持つ。小児の心臓疾患の症例数も多い
心臓病センター榊原病院 (岡山県) 心臓血管外科、循環器内科	心臓血管外科手術の累積症例は約1万例。心臓血管外科の畑隆登院長、循環器内科・岩崎孝一朗部長は症例が豊富
小倉記念病院 (福岡県) 心臓血管外科、循環器科	心臓外科の手術数、循環器科の心臓カテーテル治療数はともに全国トップの実績を持つ。カテーテル治療では横井宏佳医師が有名

中高年の突然死の多くを占める心臓病はストレスにさらされやすい人やヘビースモーカーにとって要注意の疾患だ。慢性疾患のため、循環器の専門医による適切な治療方針

心疾患は連携プレーを重視せよ

「メン」の提唱者であり、癌研究会附属病院でがん手術の腕を磨いた土屋繁裕・土屋病院外科部長は「自分ががんになったら絶対にこの人に診てもらおうと決めている医師が

御内科学教授は症例数を基準とした理由をこう述べる。また、長年、肝臓疾患に取り組んできた肝臓病の権威、藤原研司・埼玉医科大学第3内科主任教授は患者の体への負担が少ないQOLを重視する。治療成績がよいだけでなく、熱心に治療に取り組み医師がいるところとして、患者の負担が少ないラジオ波による肝がん治療を行なっている東京大学消化器内科(小保政男教授)や表には載っていないが兵庫医科大学消化器内科(工藤正俊教授)を推薦する。

さらに、「ドクターハラスメント」の提唱者であり、癌研究会附属病院でがん手術の腕を磨いた土屋繁裕・土屋病院外科部長は「自分ががんになったら絶対にこの人に診てもらおうと決めている医師が

「両者とも出血量の少ない精密な手術を行なうことはもちろん、がん治療を総合的に適切に判断できます。僕が出血量の少ない手術を基準にしたのは、以前、ある患者さんから「大量の出血をした危険な手術だったのに、それをやり遂げてくれた××先生に感謝しています」と聞いたことがあったんです。僕は患者さんがかわいそうになった。出血量が多いということは手術が下手ということなのに患者さんは知らないんです。今回は出血量の少ない手術を基準に選んでみました」

最近では、心臓カテーテル治療も進み、患者の選択肢が増えている。だからこそ、い

●心臓部門 池田宇一・信州大学大学院医学研究科教授、南瀬明宏・大和成和病院心臓病センター長 ●脳部門 中込忠好・帝京大学医学部脳神経外科教授、永山正雄・東海大学医学部神経内科講師

名医たちが選んだ

●肺がん

病院名・診療科	コメント
癌研究会附属病院 (東京都) 呼吸器外科	中川健副院長は、出血量が少なく精密な手術に定評があり、早期から進行肺がんまで幅広く対応。手術にこだわらず、判断も的確
国立がんセンター東病院 (千葉県) 呼吸器内科	西脇裕部長は、肺がんの化学療法、放射線化学療法の権威として知られている。抗がん剤の専門家としての腕も確か
北里大学病院 (神奈川県) 呼吸器外科	吉村博邦教授の出血量が少ない手術は名人芸。早期から進行がんまでカバーし、手術一辺倒ではなく患者の状態によっては柔軟に対応
静岡県立静岡がんセンター (静岡県) 呼吸器外科	国立がんセンター出身の近藤晴彦部長が在籍。手術症例が豊富で、患者の立場に立った熱心な診療に定評がある
近畿大学医学部附属病院 (大阪府) 腫瘍内科	在籍する福岡正博教授は、この分野での化学療法の第一人者。質の高い臨床データを出していることでも評価を得ている

●大腸がん

病院名・診療科	コメント
癌研究会附属病院 (東京都) 消化器外科	山口俊晴部長は、胃がんだけでなく大腸がん手術の名医でもあり、症例数が豊富で、確実な手術に定評がある
要町病院 (東京都) 消化器外科	太田博俊医師は、胃がんに加えて大腸がん手術の症例数も多く、安定感のある手術を行ない、患者からの信頼も厚い
国立がんセンター東病院 (千葉県) 消化器内科	同科の天津敦部長は、大腸がんをはじめ消化器がんの化学療法、放射線化学療法の第一人者として知られている
大阪医科大学医学部附属病院 (大阪府) 第2内科	化学療法では、瀧内比呂也医師は症例数も多く、抗がん剤治療に精通している。患者のQOL(生活の質)を考えた治療を行なう
大阪市立大学医学部附属病院 (大阪府) 第1外科	平川弘聖教授は、大腸がんの手術、化学療法に造詣が深く、腹腔鏡手術なども手がける。症例数が多いことで知られている

●肝がん

病院名・診療科	コメント
東京大学医学部附属病院 (東京都) 消化器内科	同科の専門医・小保政男教授は、患者の体に負担の少ないラジオ波を使った肝がん治療を行なうことで高い評価を得ている
東京大学医学部附属病院 (東京都) 第2外科	幕内雅敏教授は、肝がん、胆道がんの外科的治療、生体肝移植など肝臓外科の世界的な権威。数多くの新技術を生み、症例数が豊富
癌研究会附属病院 (東京都) 消化器外科	肝がんの他、胆嚢がん、膵臓がん中心の関誠医師は、慎重な手術をはじめ、合併症を起こした患者などに対する真摯な姿勢に定評あり
武蔵野赤十字病院 (東京都) 消化器科	肝がんの内科治療、肝臓疾患全般に詳しい泉並木部長が在籍し、患者のQOLを高める治療に取り組んでいる
久留米大学病院 (福岡県) 消化器病センター内科	早期肝がんから進行肝がんまで高い評価を得ている。特に佐田通夫教授は肝がんの集学的治療や、重篤な患者を熱心に治療している

●前立腺がん

病院名・診療科	コメント
札幌医科大学附属病院 (北海道) 泌尿器科	塚本泰司教授は、前立腺のほか腎、膀胱、睾丸などのがんに造詣が深く手術だけでなく抗男性ホルモンと放射線の併用など症例が豊富
東京医療センター (東京都) 泌尿器科	斉藤史郎医師は小さな粒子を前立腺に埋め込む放射線療法「I125」の第一人者。少ない副作用と高い効果で注目を集めている
東京厚生年金病院 (東京都) 泌尿器科	赤倉功一郎部長は、抗がん剤の間欠的なホルモン投与を世界で初めて編み出した。前立腺がん定評のある千葉大学の出身
千葉大学医学部附属病院 (千葉県) 泌尿器科	前立腺がんの罹患率が増加する以前から、医局を挙げて取り組んできたバイオニクス病院としての実績と信頼がある
北里大学病院 (神奈川県) 泌尿器科	額川晋医師は線量率の高いイリジウムを使った組織内照射に造詣が深い。同科では、膀胱がん、腎臓がんなどにも力を入れている

●胃がん

病院名・診療科	コメント
癌研究会附属病院 (東京都) 消化器外科	山口俊晴部長は、胃がん治療ガイドラインの作成に当たった第一人者。誠実で着実な手術を行なうことでも知られている
要町病院 (東京都) 消化器外科	癌研究会附属病院出身の太田博俊医師は、30年近いキャリアの持ち主。手術に高い技術を持ち、内視鏡手術も行なっている
静岡県立静岡がんセンター (静岡県) 消化器内科、内視鏡科	消化器内科・朴成和医師は消化器がんの化学療法と放射線療法の第一人者。内視鏡科・小野裕之部長は内視鏡手術の切開制離法の権威
大阪医科大学医学部附属病院 (大阪府) 第2内科	化学療法に造詣が深い瀧内比呂也医師が在籍。また同科では内視鏡による体への負担が少ないがん治療のほか、精度の高い検査を行なう
大阪市立大学医学部附属病院 (大阪府) 第1外科	平川弘聖教授は、精度の高い手術のほか、化学療法にも詳しく、症例数も多い。誠実な人柄と診療で知られる

い医師・病院選びが大切になってくる。心臓のバイパス手術を年間200例以上手がけ、時間が短く出血量の少ない手術を行なう南淵医師(前出)は推薦基準を次のように話す。「まず、心臓外科、循環器内科が互いに協力関係にあり、両方の治療に成熟しているところ。両者の仲が悪く、連携プレ

1がとれていないケースが多い。そんな病院で患者さんは絶対治療を受けるべきでない。推薦した病院は患者さんを中心に両科が互いに競い合いながら同居している病院です。

第2に、病院長や理事長などが心臓病治療に理解を持っているところ。狭心症、心筋梗塞の場合1か月以上手術を待たせる病院は悪い病院といえるでしょう。私が推薦した病院はいずれも迅速に手術を行ない、また患者がいつ手術

本記事の名医推薦者・協力者リスト(アイウエオ順)／●がん部門 荒川哲男・大阪市立大学大学院医学研究科消化器器官制御内科学教授、唐澤克之・東京都立駒込病院放射線診療科医長、高橋豊・金沢医科大学がん研究所腫瘍外科助教授、土屋繁裕・土屋病院外科部長、藤原研司・埼玉医科大学第3内科主任教授

を受けられるのかを聞けばきちんと答えてくれます。

第3に、医師やスタッフが働きや技能に応じて満足な待遇を得ている点も挙げられます。医師の人事が大学医局に支配されていない実力主義の医師が集まっているところ「す」

として、心臓血管センター

北海道大野病院、新東京病院、豊橋ハートセンターなどを推薦。

また、循環器内科の専門医として血管再生医療などの先端医療にも取り組んでいる池田宇一・信州大学大学院医学研究科教授は、病院・医師選

びのポイントをこう語る。「心臓バイパス手術でも、内

科医によるカテーテル治療でも、症例数が多い病院ほど死亡率が低く、医療の質が高いといえます」

多くの心臓病専門医も同じ指摘をしており、この基準に相当する病院は、内科、外科とも充実した心臓専門病院として総合力で勝る榊原記念病院、内科の心臓カテーテル治

療数、外科の手術数が共に全国トップの実績をもつ小倉記念病院等だろう。

高齢者だけでなく、最近では働き盛りの40代、50代にも急増している脳梗塞や脳出血は、倒れた時の手術や処置、その後のリハビリが運命を決める。医師の素早い判断や適切な手術、医療設備が大きくものをいい、社会復帰できるかどうか医師・医療機関によって差が出てくるだけに選

び方は慎重にしたい。日本では有数の脳外科医として知られ、特に脳動脈瘤の予防手術の名医でもある中込忠好・帝京大学医学部脳神経外科教授はいう。

「症例数が多い施設を推薦しました。1000例以上も脳下垂体腫瘍を手がけ、しかも死亡例がない寺本明教授率いる日本医科大学脳神経外科、

治療が難しい脳の深いところの脳腫瘍治療にすぐれている慶應義塾大学脳神経外科、他に、多方向から放射線をあてるガンマナイフ治療を行なっている東京女子医大脳神経外科、NIT東日本関東病院脳神経外科などが推薦できます」

中込教授によると、特に、脳疾患分野は技術の進歩が早く、標準治療が1〜2年で変わっていくという。

「そういった最新の知識をきちんとフォローし勉強している医師がいるところがいいでしょう」

脳外科手術や心臓手術は一歩まちがえれば、命に関わる事態にもなりかねず、助かっても後遺症が残るケースも多い。もちろん、不可抗力の事故も起こりうるが、医師選びを間違えれば、医療ミスのリスクははね上がる。